

指定管理者管理運営状況検証調書①

令和2年7月27日

施設名	さぬきこどもの国	所在地	高松市香南町由佐3209
施設所管課	健康福祉部子ども政策推進局子ども政策課	施設所管課連絡先	総務・子ども未来応援グループ 087-832-3282
指定管理者名	公益財団法人 香川県児童・青少年健全育成事業団	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日

1 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設の維持管理及び管理運営に関すること。 ②施設の利用の許可に関すること。 ③利用料金の収受に関すること。 ④その他施設の管理運営に関すること。	県からの委託料	平成28年度 334,470,000円 平成29年度 338,000,000円 平成30年度 337,226,000円 令和元年度 342,275,000円 令和2年度 345,419,000円
---------	--	---------	---

2 施設の利用状況等

利用者数 (稼働率)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	元年度	71,486	93,212	43,586	48,357	81,068	60,129	77,532	50,629	36,111	45,883	22,350	10,383	640,726
30年度	63,551	73,885	47,894	39,743	79,742	46,777	73,589	54,754	35,095	40,458	31,800	57,999	645,287	
29年度	60,256	79,400	43,105	50,622	89,917	49,317	75,986	49,556	34,643	39,596	29,071	70,014	671,483	
28年度	62,108	81,818	39,844	48,767	79,264	48,941	77,608	48,716	32,720	40,550	32,214	66,232	658,782	
27年度	51,448	94,523	42,416	47,487	90,766	67,883	82,255	50,388	31,877	45,424	31,100	56,751	692,318	
導入前	57,250	107,340	27,990	37,430	72,790	37,230	60,470	50,120	16,060	31,560	23,410	47,410	569,060	

利用料金収入 (使用料)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	元年度	2,306,830	2,943,910	1,786,000	1,588,550	2,668,940	2,123,520	2,040,960	1,906,870	1,281,310	1,756,250	1,202,850	1,206,350	22,812,340
30年度	2,467,950	2,418,490	1,648,140	1,081,630	2,623,190	1,675,730	2,183,110	1,815,960	721,300	1,132,300	880,600	1,545,720	20,194,120	
29年度	2,609,970	2,945,330	1,591,860	1,492,800	3,071,610	2,138,090	1,496,290	1,730,500	1,124,730	1,585,540	1,062,640	2,656,710	23,506,070	
28年度	2,469,810	2,997,030	1,219,700	1,887,880	2,887,200	1,591,140	2,285,630	1,734,980	1,099,100	1,489,440	1,155,250	2,552,000	23,369,160	
27年度	2,063,700	3,182,930	1,687,670	1,581,330	3,056,300	2,803,470	2,413,670	1,809,440	1,208,970	1,713,750	1,219,950	2,447,200	25,188,380	
導入前	2,150,100	2,694,450	1,463,000	1,507,200	3,231,650	1,680,300	1,796,150	1,465,650	425,150	1,035,300	821,750	1,518,750	19,789,450	

(注)スペースシアターについては、改修工事のため、一時利用休止（平成30年12月1日～平成31年4月13日）している。また、わくわく児童館については、1階展示リニューアル及び新型コロナウイルス対策のため、それぞれ休館（令和2年1月20日～2月13日、令和2年3月4日～）している。

3 利用者からの意見への対応

利用者意見の把握方法	ご意見箱の設置、年4回の一般利用者と団体利用者のアンケート調査、イベント開催時における参加者の意見の聴取、園内巡回時の職員による意見聴取などにより利用者のニーズを把握し、適切な運営を行っている。また、直営している喫茶コーナーにおいても年4回アンケート調査を行い、利用者ニーズの把握に努めている。
------------	---

利用者からの積極的な評価	
子どもの五感を刺激するものがいっぱい、娘は赤ちゃんの時から大好きです。絵本もたくさんあって、家での絵本選びの参考にしています。こどもの国のおかげで、情緒豊かに成長できたと感謝しています。	
館内は全体的にきれいで、ゴミ箱にゴミが溢れるという事もなく、手洗いには台拭きもあったり、手洗いボトルも常に補充されており満足です。お掃除は大変だと思いますが、ありがとうございます。施設や設備が古いと言う人もいますが、年数が経った建物でもきれいに維持していると思います。	
以前は毎日のように利用していましたが、転勤で引っ越しして、2カ月ぶりの利用となりました。他へ移って、こどもの国のありがたみを改めて感じています。私のような自宅で育児中の親にとっては、心の拠り所のような場所でした。スタッフの方も皆さん親切にして下さり、「子育ては一人ぼっちじゃない」と強く感じることができる場所でした。今は遠く離れてしまいましたが、こどもの国での体験は今も自宅での保育に活かされています。全国的にみても、このような充実した施設は少ないと思います。これからも、こどもの国が楽しく良い場所であるよう、スタッフ一人ひとりの顔を思い浮かべながらお祈りしております。次また来られる日を楽しみにしています。	
いつも孫と一緒に来ています。設備が整っていて、係の人も親切で、孫たちも大好きです。お弁当を持って来ることができ、他県の人には大変好評で、低予算で一日遊べる場所と言っています。この施設がずっと続けば良いと思います。変わりダネ自転車も面白いと絶賛！私たち年配者の世代でも、ゆっくり孫と遊べる場所になっているのが最高！	
以前どなたかのブログで、こちらの施設が楽しくて、高松旅行の良い記念になったと書いてあり、数年越しの希望がかなってようやく遊びに来られました。小1と5歳の子どもも目をキラキラさせ、色々遊びました（プラネタリウム、工作、屋外遊具）。ボランティアの皆さんも温かい笑顔で接していただき、良い場所だなと思いました。また来ます。	

利用者からの苦情・要望	対応状況
<p>1歳7か月になる子どもと来た時に、小学校の団体と一緒に、大きい子どもが走り回ったり、遊具等を占領したりして、小さい子どもを安心して遊ばせることができませんでした。</p>	<p>10月から11月は秋の遠足シーズンのため、小学生の利用が多い時期です。団体利用の引率の先生方には、乳幼児を連れた一般来館者の方の利用もあるので、昼食場所や工房、遊具等は譲り合ってくださいよう事前にお伝えしています。 また、幼児コーナーで小学生が遊んでいたりと、勢いよく走り回っている子どもを見かけ場合は、スタッフが注意しています。</p>
<p>YS-11は年数が経っているので、一度本格的に補修した方がいいと思います。貴重な機体ですので大事にしてほしいものです。</p>	<p>YS-11は設置以来、各部の状況に応じて補修してきております。最近では、脚の塗り直し、コクピットの窓ガラスの交換等を行いました。</p>
<p>木の玉プールはどこで靴を脱げばいいのですか。マットの外か中か。見ていると人それぞれで分かりにくいです。</p>	<p>靴を脱ぐ場所が分かりやすいよう表示を改善しました。今後は、マットの上で脱いでいただくようお願いします。</p>
<p>外から児童館をぐるっと回っている大きい龍の遊具（黄色）は、張ってある緑色のネットが小さい子どもなら通れたり、体がはまったりしそうな隙間があるので、隙間なくネットを張ってほしい。</p>	<p>ご指摘のあった大型遊具（チューブ遊具）の黄色いトンネル状の枠の隙間については、遊具の設置基準上は問題はありませんが、安全のためにネットを追加設置しました。チューブ遊具は小さいお子さまにも大変人気があります。幼児は思いがけない動きをすることがあるかもしれません。保護者の方にはぜひ、一緒に遊具に入り確認しながら回っていただけたらと思います。</p>

4 管理運営状況の評価

項目	細項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価	人事・行 革課の評
適正な管理運 営の確保の状 況	利用許可	さぬきこどもの国条例、同規則及びさぬきこどもの国管理規程に基づき、公平かつ平等に利用を許可している。	さぬきこどもの国条例、同規則及びさぬきこどもの国管理規程に基づき、適正に処理されており、関係書類も適正に保管されている。	A A
	建物・設備の 保守点検及び 維持管理	協定書の業務仕様書「施設の維持管理に関する業務の基準一覧」に基づき、法定・任意を含め管理の内容ごとに適切に実施している。	施設管理を専門業者に再委託し、管理責任者1名を常駐させるなど緊密に連携を図りながら、仕様書に定める業務の基準に基づき適正に実施されている。 点検の記録も適正に保管されている。	
	安全性の確保	毎年、専門業者により館内外の展示物・遊具等を定期的に点検し、機能劣化、補修、塗装等の判断基準に基づき、安全対策を実施するとともに、職員による目視・触診・聴診・打診等による安全点検を毎月1回定期的に実施している。点検結果により、使用禁止や修繕など迅速に対応し、事故を未然に防止するための安全対策を実施している。	専門業者の遊具点検有資格者による定期点検や、職員による日常安全点検の実施により、事故の未然防止に適正に努めている。 また、点検結果による要修繕箇所についても、修繕や一時的に使用禁止にするなど、迅速に対応している。	
	物品・備品管理	県からの貸与物品については、管理台帳を作成し、年1回現品照合を行い、適切に維持管理を行っている。指定管理者が取得した物品についても同様に管理台帳を作成し、維持管理を行っている。	県からの貸付物品は適切に管理され、毎年度その管理状況について県に報告されている。 また、指定管理者所有物品についても、県の備品台帳に準じた様式の一覧表を作成して管理されている。	
法令等の 遵守等	法令等の遵守	さぬきこどもの国条例、同規則及び協定書のほか、施設運営に係る関係法令を遵守し、適切な管理運営に努めている。	さぬきこどもの国条例及び同規則に基づき、適切に指定管理業務を実施するとともに、関係法令等が遵守されている。 包括協定書に基づき、毎年度、県の承認を得た上で、適切に維持管理・運営業務の再委託を行っている。	A A
	職員配置	業務内容に応じた専門職員を配置し限られた人員で効果的な執行体制をとるとともに、利用者に満足していただけるよう横断的な業務や臨時的な業務に対応するため、グループを超えて組織するプロジェクトチームを設置するなど、質の高いサービス提供に努めている。	児童福祉施設最低基準及び仕様書に定める必要な職員は配置されている。 グループを超えて組織する「プロジェクトチーム」を設置し、部署横断的な業務や臨時的な業務などに柔軟に対処し、利用者のニーズに responding している。	
	緊急時の体制	利用者の安全確保を最優先に迅速な対応ができるよう、管理者・委託業者・県の間で緊急連絡網を作成するとともに、気象情報、火災発生、不審者侵入等危機管理体制をより充実・強化するため、防災訓練、不審者対策訓練、AED講習の受講等を実施している。事故等の発生時には、直ちに県へ報告するとともに迅速に対応している。	緊急時に迅速に対応するため、連絡体制の整備を行っている。 事故発生時や緊急時に対応するため、事案に応じた対応マニュアルによる危機管理体制を整備するとともに、訓練等を実施している。 事故記録は適切に記録・管理している。	

法令等の遵守等	県の指示事項への対応	県からの指示事項に対しては、迅速に対応し、結果報告を行っている。県とは月例報告のほか、適宜訪問し、運営状況等について報告・協議するなど、連携を図りながら適切に対応している。	県からの指示事項について迅速に、かつ的確に対応している。	A	A
	個人情報の保護	個人情報については、協定書に基づき適切に管理を行っている。特に電子データはアクセス権限を制限するなど適切に管理するとともに、使用済みデータについては、速やかに廃棄又は消去している。	個人情報を含む情報管理について、職員に対し研修を実施している。 また、個人情報を含む電子データへのアクセス権は限られた職員のみを与えるなど内規を定め、適切に管理している。情報の廃棄もシュレッダーで行うなど適切に実施している。		
労働関係法令遵守の状況	労働関係法令	就業規程等の変更、36協定の締結及び労働基準監督署への届出をはじめ、適正な雇用契約の締結や割増賃金の支払、年1回の定期健康診断の実施など労働関係法令を遵守している。	雇入時、労働者に対し、労働条件等を明示した労働条件通知書を交付している。労働者の雇用は、最低賃金を上回る賃金でされている。 就業規程により週の法定労働時間を定めており、36条協定も締結されている。時間外労働に対しては、適切に割増賃金等が支給されている。 定期健康診断も適切に実施されている。	A	A
利用者サービスの維持向上の状況	利用者数の状況	前期指定管理の時より利用者数は増えている（改修工事等に伴う休館期間を除く）。	指定管理者導入前に比べ、利用者数は増加している。	A	A
	利用促進	〈別紙に記載〉	〈別紙に記載〉		
	各種事業・プログラムの内容	〈別紙に記載〉	〈別紙に記載〉		
	利用者満足度調査	一般来園者に対する年4回のアンケート調査や団体利用を対象とした年2回のアンケート調査に加えて、直営している喫茶コーナー利用者の年4回のアンケート調査やイベント実施時に利用者の意見を聞くなど、積極的に利用者の満足度の調査を実施し、9割を超える方から「非常に満足」、「満足」したとの評価を得ている。	アンケート結果によると、回答者の9割以上の方が「非常に満足」、「満足」と回答し、高い満足度を示している。		
苦情等への対応	利用者から直接の苦情や意見（メール・電話も含む）を受けた際は、直ちに必要な対策を取っている。また、ご意見箱に寄せられる意見については、迅速な対応や改善等が行えるよう毎週回収し、回答は月一回、園長・グループリーダー・チーフ以上で協議し、可能なものは直ちに対策を取り、その対応状況等を翌月に館内外3か所に掲示している。	ご意見箱を設置するなど常に利用者の意見を把握する体制を整え、苦情等への対応はプロジェクトチームを中心に迅速に対応している。 苦情等に対する回答を館内外3か所に掲示し、利用者へ具体的な対応状況を公表している。			

利用者サービスの維持向上の状況	広報、PR、情報提供の実施	当館の情報誌「さぬきこどもの国News」を（年6回）発行するとともに、ホームページやフェイスブックでは各種利用案内の他、イベントの開催情報を掲載し、多くの方に情報提供するよう努めている。また新聞・雑誌等マスコミへ情報提供イベントを紹介していただくなど、様々な媒体でのPR活動に取り組んでいる。さらに、香川県観光協会運営の「うどん県旅ネット」や高松空港周辺施設連絡会に加盟する近隣施設のホームページ・SNS等にも当館の情報を掲載し、施設PRに努めている。	マスコミへの情報提供・さぬきこどもの国News等様々なメディア・媒体を活用して積極的に情報発信を行っている。 県内の幼稚園、小学校等へ職員が出向き、施設やイベント等について周知を行うなど、積極的にPRを実施している。	A	A
収支の状況	経費節減の取組	計画的に遊具等の修繕を行い修繕コストの圧縮や、工房材料等については企業からいただくなどして経費削減を行っている。また、LED照明器具の導入や空調の効率的運転、照明不要時の消灯等により光熱費の節約に努めている。	LED照明器具の導入や空調の効率的運転等により省エネルギーに努めるだけでなく、施設、遊具等の計画的な修繕により修繕コストを圧縮するなど、経費節減に取り組んでいる。	A	A
	収支の状況	毎月、収支計算書等財務諸表により、収入・支出の状況を確認している。収支決算については監事による監査を受け、県に対して事業報告と財務報告を行っている。	収支計算書等財務諸表により、前年度収支と比較するなど、収支状況を的確に把握している。収支決算は監事による監査を受け、適正に管理されている。		
	会計処理の状況	各種会計処理にあたっては、複数の職員による確認を実施し、定期的に税理士の確認を受けるなど、定められた会計基準に沿った適正な会計事務を行っている。現金、預金通帳、印鑑、貯蔵品等の取り扱いについても金庫で保管するなど厳重な管理を行っている。	各種会計処理にあたっては、複数の職員によるチェックが実施されており、現金、預金通帳、印鑑等の保管状況も適切である。 会計規程に基づき、帳簿等を作成しており、会計事務について適正に処理されている。		

《評価指標》 S：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている。
A：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を実施している。
B：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある。
C：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている。

総合評価	施設所管課の評価		人事・行革課の評価
	施設の維持管理は、適正に利用者の安全が確保されており、また、公の施設として平等利用の考えも遵守されており、適正な管理運営の確保がなされている。 また、専門的な職員を配置し、利用者の年齢や興味に応じたサービスが提供されているほか、県内の児童館等の支援を行うなど、児童厚生施設（大型児童館）の役割を果たしている。	A	A

《評価指標》 S：適正であり、優れた実績をあげている。
A：適正である。
B：概ね適正であるが、一部改善を期待する。
C：改善が必要である。

管理運営状況の評価

利用者サービスの維持向上の状況

細項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価
	<p>【企画事業】 ・企画事業について、1つの企画の収容人数を意識し、なるべく多くの方が参加できるよう工夫した。予定人数に達しない場合やキャンセルが出た場合は、可能な限り当日の受け入れを行った。 ・1つ1つの企画のイメージにあったチラシを作成し、広く配布し、またホームページにも掲載し周知を行った。 ・時代の流行にも目を向け、今の時代の子どもの興味関心を把握した上で事業を計画した。</p> <p>【工房】 ・科学工房では、水槽をリニューアルし、これまで飼育していた金魚などに加え、様々な淡水魚や海水魚に親しめるようになった。科学工作が難しい小さな子どもたちの利用促進につながっている。 ・各工房では、小学校高学年を対象に、より専門的なプログラムを提供するクラブ活動を実施し、普段来館することが少ない小学校高学年の利用促進を図った。</p> <p>【スペースシアター】 ・今期指定管理から、スペースシアターにてスタンプカードを配付し、1回の有料入場で1つのスタンプを押し、5つスタンプを集めると1回入場料を無料とし、利用促進に努めた。</p>	
<p>利用促進</p>	<p>【アウトリーチ活動】 ・当館で実施している遊びを持って、地域の子育て支援団体が主催するイベント等への出展・出演や商店街に「遊びの広場」を設けるなど、当館の活動を積極的にPRし、アウトリーチ活動による来館者の新規開拓を行った。</p> <p>【子育て支援】 ・子育て支援事業の新たな取り組みとして、地域の子育て支援団体と協働でイベントを開催する「親子遊びParty」や「かがわ子育て支援フェスティバル」により、参加団体の横のつながりを強化するとともに、さぬきこどもの国への集客につなげている。</p> <p>【ボランティア事業】 ・県内の高校生に、当館が用意した遊びのプログラムを通して子どもたちへの関わり方を体験してもらう「1DAYボランティア事業」を実施し、ボランティア活動の楽しさややりがいを伝え、さぬきこどもの国登録ボランティアへの継続的関りにつなげるとともに、児童館利用の対象である高校生の利用促進も担っている。</p>	<p>マスコミへの情報提供・さぬきこどもの国News等様々なメディア・媒体を活用して積極的に情報発信を行っている。 さらに、「たかまつ空港周辺GUIDE BOOK」の作成や、香川県観光協会による翻訳・第三者通話サービスなどを活用することにより、県内のみならず、海外からの利用者に向けたPRや利用促進を行っている。 団体利用アンケートを新たに実施するなど、利用者からのニーズの把握に努めている。利用者からの要望については、迅速な対策を講じることで、利用者から高い評価を得られている。 スペースシアターにおけるスタンプカードの導入やインフォメーション業務と喫茶コーナーの直営など、利用者の利便性を向上させるとともに、収入の確保に努めている。</p>
	<p>【イベント情報】 ・各マスコミに向け、イベント等の情報提供を迅速に行うことと、新聞や雑誌の購読者の年齢層を意識して掲載内容を変えることで、利用者のもとに適した情報が届くよう工夫を行った。例) タウン誌の購読層には乳幼児の保護者が多いため、乳幼児を対象とした企画の広報を行うなど。</p> <p>【施設PR】 ・高松空港周辺施設連絡会事務局（香川県園芸総合センター、香南アグリウム、香南地区コミュニティ協議会、さぬき空港公園、さぬきこどもの国、高松空港(株)の6施設で構成）を運営し、近隣施設間での情報交換などを行うとともに、「たかまつ空港周辺GUIDE BOOK」（日本語：2万部、英語・繁体字・簡体字・韓国語の多言語：各5千部）を作成し、加盟施設ホームページにも掲載して、さぬきこどもの国の施設PRに努めた。</p> <p>・平成30年度から香川県観光協会に加盟し、観光協会が運営するウェブサイトや海外向けFacebook等に当園情報を掲載し、大型児童館であると同時に香川県内有数の観光スポットとして、県内外・海外に向けて広く施設PRを行った。</p>	

利用促進	利用者サービスの向上	<p>【インフォメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパニオン業務の委託を廃止し、インフォメーション業務を直営したことで、職員による金銭の取り扱いが可能になり、両替や物品販売が効率良くスムーズに行えるようになった。 ・来館者から問合せの多い「本日のイベント」を表示するなど、工夫を凝らして情報提供に努めた。 ・利用者アンケート等の要望から衛生用品の販売品目を増やした。（おしりふき、着替用Tシャツ） <p>【香川県観光協会への加盟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型児童館であると同時に香川県内有数の観光スポットであり、県内外や海外からの利用者も増加しているため、平成30年度から香川県観光協会に加盟し、加盟施設が利用できる各種サービス（翻訳・第三者通話サービス等）を活用し、海外からの利用者をスムーズに受け入れられるようにした。 <p>【情報提供とサービス向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設として香川県や高松市等の観光に関する情報や、近隣施設のイベント情報等を常設掲示し、利用者への情報提供の充実を図った。 ・利用者にとって必要な情報や災害発生時の緊急情報等を迅速に取得できるよう、インフォメーションに「かがわWi-Fi」を設置した。 	<p>マスコミへの情報提供・さぬきこどもの国News等様々なメディア・媒体を活用して積極的に情報発信を行っている。</p> <p>さらに、「たかまつ空港周辺GUIDE BOOK」の作成や、香川県観光協会による翻訳・第三者通話サービスなどを活用することにより、県内のみならず、海外からの利用者に向けたPRや利用促進を行っている。</p> <p>団体利用アンケートを新たに実施するなど、利用者からのニーズの把握に努めている。利用者からの要望については、迅速な対策を講じることで、利用者から高い評価を得られている。</p> <p>スペースシアターにおけるスタンプカードの導入やインフォメーション業務と喫茶コーナーの直営など、利用者の利便性を向上させるとともに、収入の確保に努めている。</p>
	団体利用	<p>【ニーズの把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から年2回（春秋）の遠足・校外学習シーズンに「団体利用アンケート」を実施し、団体利用者ニーズの把握に努め、受付業務等の改善に努めている。 <p>【申込み・問合せ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用を申し込む側にとって必要な情報が提供できるよう、ホームページの掲載情報を見直したり、当館閉館時間後の17時以降や幼保小の申込み担当者が自分の都合の良いタイミングで予約空き状況等をホームページから問合せができるよう、団体利用専用の問合せフォームを作成し、利便性向上に努めている。 <p>【バスの駐車場確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当園駐車場のバス駐車可能台数（約30台）を超える台数の利用が見込まれる場合は、さぬき空港公園に依頼してアドベンチャーゾーン駐車場を借り、バス駐車場の確保に努めている。 <p>【雨天時の昼食場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用日が雨天の可能性が高い場合は館内の昼食場所と時間を割振り、前日までに各団体に連絡して当日安心して過ごせるよう配慮し、利便性向上に努めている。 	
	自主事業	<p>【喫茶コーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から喫茶を直営した後は、利用者からの苦情が聞かれなくなった。利用者ニーズの把握に努めるため、年4回のアンケートを実施して、メニュー開発や価格設定等に反映するとともに、喫茶独自の企画を実施し、喫茶のPRと利用促進に努めた。 <p>【自販機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズから、自販機業者と連携してノンカフェイン飲料と果汁100%飲料の設置数を増やしたり、職員の巡回時に売切れ商品のチェックを行う等、利用者の利便性の向上を図った。 <p>【物販】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望から、衛生用品の販売だけでなく土産物等の販売も行えるよう、令和2年度から物販を自主事業に切替え利用促進に努める。 	

管理運営状況の評価

利用者サービスの維持向上の状況

再項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価	
各種事業・プログラムの内容 (育成事業)	企画事業	<p>小さな子どもから祖父母まで、世代を超えて家族みんなで楽しめる企画を開催している。NPOなど地域団体や企業との共催企画、JAXAとの連携企画、スペースシアターを活用した企画、中高生の活躍を応援する企画、日赤や消防との防災をテーマにした企画など、様々な分野に挑戦し取り組んでいる。また、実施回数については、当初計画の通り平成28～30年については年間約40回を超えて実施しているが、令和元年度は、1階リニューアル工事のための休館と、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休館のために中止した企画が多く、予定回数を下回った。</p>	
	スペースシアター事業	<p>通常の番組上映に加え、生解説をメインとした「全国一斉熟睡ブラ寝タリウム」、音楽と星空の映像を楽しむ「ミュージックプラネタリウム」など、スタッフによるオリジナルプログラムの提供に取り組んでいる。また、スペースシアターを多目的に活用するため、演劇やジャズコンサートなども実施している。その他、元JAXAの職員を招きロケット開発についての企画も実施した。平成30年度に機器のリニューアルを行い、光学式プラネタリウムと8K相当のプロジェクターを新たに導入した。平成31年4月には、宇宙飛行士の毛利衛氏を招いてリニューアル記念講演会も開催した。</p>	<p>企画事業については、団体、企業等との共催事業を実施し、スペースシアターについても、幅広い年齢を対象に、それぞれの年齢に応じたプログラムを実施するなど、利用者の興味や年齢に応じた事業を実施することで、利用促進につながっていると考えられる。各工房においては、様々な創作活動等により創造性を伸ばすプログラムの提供に努めている。屋外施設については、サイクルセンターの運営のほか、琴電車両やYS-11型航空機の展示等、他の施設との差別化により、利用者の増加に寄与している。</p>
	工房等運営事業	<p>美術・科学・音楽・コンピュータの4つの工房では、活動を通して子どもたちの自主性や創造性を発揮できるプログラムや、新たな発見ができるようなプログラムの開発・提供をしている。工房内で実施するミニイベントでは、毎月の通常のプログラムでは体験できない活動や創作意欲を刺激するような活動を提供している。また、小学校4年生以上の高学年児童を対象としたクラブ活動を実施し、スタッフの専門分野を活かした内容を提供している。</p>	<p>令和2年3月に、小学生向けの最新の科学技術等を体験できる展示の整備や、乳幼児向けの県産木材を活用した遊び場を整備したので、今後、利用者の増加が期待される。各種事業の運営に関して、地域のボランティアや団体との連携を図るなど、地域貢献を行っている。</p>
	こども劇場運営事業	<p>企画事業・音楽工房のイベントの他、子育て支援事業やボランティア企画など自館のイベントを効率よく組み込み、劇場スペースを有効利用するとともに、貸館事業として劇場の貸出しを行っている。</p>	<p>令和2年3月に「宇宙」をテーマとする展示物にリニューアルした遊びゾーンと、県産木材を取り入れ、子どもや保護者に木のぬくもりや愛着を体感できるスペースとして新設した「木とこどもの広場」では、自由に各種の玩具や遊具・科学体験装置を利用することができるように配置し、展示物の維持管理など環境整備に努めている。</p>
	科学体験ゾーン等運営事業	<p>令和2年3月に「宇宙」をテーマとする展示物にリニューアルした遊びゾーンと、県産木材を取り入れ、子どもや保護者に木のぬくもりや愛着を体感できるスペースとして新設した「木とこどもの広場」では、自由に各種の玩具や遊具・科学体験装置を利用することができるように配置し、展示物の維持管理など環境整備に努めている。</p>	<p>令和2年3月に「宇宙」をテーマとする展示物にリニューアルした遊びゾーンと、県産木材を取り入れ、子どもや保護者に木のぬくもりや愛着を体感できるスペースとして新設した「木とこどもの広場」では、自由に各種の玩具や遊具・科学体験装置を利用することができるように配置し、展示物の維持管理など環境整備に努めている。</p>
	企画展示運営事業	<p>ギャラリーで、月ごとにテーマを設け各種展示を行っている。テーマについては来館者が興味を持って見ることができるよう、地域の伝統行事、昔遊び、日本に古くから伝わる伝承、簡単な遊びの紹介、さぬきこどもの国の事業の紹介などを取り上げ、それに関する書籍なども合わせて展示する他、季節ごとに児童図書入れ替えを行い、ギャラリー機能の充実を図っている。</p>	<p>令和2年3月に「宇宙」をテーマとする展示物にリニューアルした遊びゾーンと、県産木材を取り入れ、子どもや保護者に木のぬくもりや愛着を体感できるスペースとして新設した「木とこどもの広場」では、自由に各種の玩具や遊具・科学体験装置を利用することができるように配置し、展示物の維持管理など環境整備に努めている。</p>
	屋外施設運営事業	<p>サイクルセンター業務については、毎年10万人を超える利用者があり、当園で一番利用者数の多い施設となっている。また、YS-11型航空機展示についても、年平均約8万人が利用し、サイクルセンターに次ぐ集客力を誇っている。いずれも天候の変化等に臨機に対応し、できるだけ多くの来園者に利用してもらえよう運営している。</p>	<p>各種事業の運営に関して、地域のボランティアや団体との連携を図るなど、地域貢献を行っている。</p>

管理運営状況の評価

利用者サービスの維持向上の状況

	再項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価
各種事業・プログラムの内容 (支援・啓発事業)	児童館運営支援事業	<p>大型児童館として、子どもの健全育成や子育て支援に関わる支援者を対象とした研修会を開催し資質向上を図るとともに、当館で実施している遊びのプログラムの紹介及び、その材料提供や道具の貸出を行う「遊びの道具貸出し事業」を行い、県内の児童館や子育て支援団体等の活動をサポートしている。また、さぬきこどもの国ホームページの一部として、県内児童館の情報提供も行っている。</p> <p>香川県児童館連絡協議会事務局としては、児童館及び放課後児童クラブの職員を対象とした年間6回の研修会の開催と、児童厚生員の資格登録事務や会員館への情報提供資料として「香児連通信」の発行を行っている。</p>	<p>香川県児童館連絡協議会の事務局を円滑に運営し、大型児童館として、県内児童館職員の研修や県内児童館向け情報提供等を実施している。遊びの宅配便事業により、県内児童館や地域の子育て支援施設、障害を持つ子どもが利用する施設等に出向くことで、遊びを通して地域の児童の健全育成の推進に努めている。</p> <p>また、相談事業のほか、幅広い子育て支援事業に取り組むことで、子どもと子育て家庭の支援を行っている。</p>
	組織化事業	<p>さぬきこどもの国ボランティアを対象に年間3回の研修講座を行い、スキルアップやボランティア同士の交流を図るとともに、随時募集することにより意欲的な人材の確保に努めている。ボランティア活動として自館の業務支援の他、自主企画の実施やボランティア自身が企画した遊びをもって県内の子育て支援団体が主催するイベントに出向く「出張！ボランティア事業」などを行い、ボランティア活動の活性化や活動の場を広げている。登録者は令和2年3月末現在114名となっている。</p>	
	広報啓発事業	<p>自館のイベントや事業について分かりやすく紹介した情報誌「さぬきこどもの国News」を偶数月に発行し、県民に広く周知している。今期指定管理から発行部数を3万部から4万部に増やし、小学4年生にも配付することで、高学年の子どもたちへの情報発信にも努めている。また、ホームページやフェイスブックなどを通して迅速に子育て情報の提供を行っている他、自館の取り組みについても広く周知している。</p>	
	調査研究・情報提供事業	<p>様々な遊びのプログラムを掲載した「わくわくパレット」を発行し、遊びの大切さや児童館の取り組みを広く周知した。次号の発行に備え、遊びのプログラムの記録に努めている。また、各工房や企画事業についてアンケートを実施し、その分析結果を遊びの開発や企画の計画に活かしている。その他、ホームページに県内の児童館情報を掲載し、情報提供に努めている。</p>	
	相談事業	<p>毎月第2・4木曜日に助産師と栄養士による子育て相談「はぐくみ広場」、毎週土曜日に臨床心理士による個別子育て相談「はぐくみRoom」を実施し、子育てに関する保護者等の悩みや不安に適切に対応している。</p> <p>地域団体や子育て支援団体との共催で「まちの保健室」（共催：（公社）香川県看護協会）「助産師のほっと相談室」（共催：（一社）香川県助産師会）「ペアメンcafé」（共催：NPO法人ペアレントメンターかがわ）を開催し、幅広い内容の相談に対応している。また、乳幼児期と思春期の子を持つそれぞれの保護者を対象としたワークショップを開催し、親子の良好な関係づくりに努めている。</p>	

各種事業・プログラムの内容 (支援・啓発事業)	ネットワークづくり事業	<p>当館で実施している遊びのプログラムを持って職員が県内の児童館や放課後児童クラブ・子育て支援施設、児童デイサービスなどの障がいを持つ子どもたちが利用する施設に向く「遊びの宅配便」について、毎年概ね70か所の施設・団体で実施している。また、アウトリーチ活動として、児童館の存在意義や自館の活動を更に広く周知するため、広報活動を積極的に行い、地域の児童館や自館への来館につなげる「動く！あそびパーク」や「遊びの宅配便 with さぬきの児童館」を実施し、さぬきこどもの国の遊びの普及・啓発と利用者の新規開拓に取り組んでいる。</p>	<p>香川県児童連絡協議会の事務局を円滑に運営し、大型児童館として、県内児童館職員の研修や県内児童館向け情報提供等を実施している。遊びの宅配便事業により、県内児童館や地域の子育て支援施設、障害を持つ子どもが利用する施設等に向くことで、遊びを通して地域の児童の健全育成の推進に努めている。</p> <p>また、相談事業のほか、幅広い子育て支援事業に取り組むことで、子どもと子育て家庭の支援を行っている。</p>
	子育て支援事業	<p>地域で親子遊びを主とする活動を行う子育て支援団体との協働事業「親子遊びParty」や、遊びながら、自然な形で親子の触れ合いを促進する「かそく・ツナグ・あそび」、カードゲームやボードゲームを通して親子や祖父母との三世代交流促進を図る「だんらんtime」、地域の大学と協働で親子遊びの広場を実施する「はぐくみ×カレッジ」、未就園児親子のふれあい遊びを中心とした「親子であそぼ！ぐう・ちょき・ぱあ」など、幅広い子育て支援事業に取り組み、親子で一緒に遊んだり活動したりする場を提供することにより、親子の関係づくりや、親・子ども同士の交流を促進し、子育ての楽しさを実感できるよう努めている。</p>	